

㊦ (小計 54点)

問一 (16点) 父親として自分の息子が成長し、絵の腕を上げていくのを見るのは楽しみだが、鳥居の家を継ぎ五代目を育てるという役目を負っている以上、息子が鳥居の家を乗っ取ることが出来る程の力をつけていくのを見るのは恐ろしく思っているから。

問二 (16点) 絵の道で尊敬する父から絵をやめろと言われただけでなく、これ以上上達しないとも言われてショックを受け、手をつぶして描けなくなれば絵をあきらめられると思ったから。

問三 (10点) 絵が上手な芝居小屋の若者が、実は行方不明になっていた白子屋若旦那の政之介だったから。

問四 (12点) 父に能力を認められなかった悔しさから、荒々しい線で描かれるようになり、書割で鍛えた筆遣いや、舞台袖から人気役者たちの姿を観察した経験から、生命力のある線になったと考えられる。

㊧ (小計 36点)

問一 (18点) 血液型占いに科学的根拠はないが、それによって人を分類し、排除するという現状がある。これは人間が持つ本来の可能性を摘み取り、他人の運命や人生まで左右するようになり、大変危険だということ。

問二 (18点) 平均への回帰の法則とは、この世の事象はすべて平均のラインを上下しつつ結局は平均の数字にもどるといふことである。これを知って努力を続けることで、心のゆらぎにつけこまれず、第一種ニセ科学にだまされずにすむと考えている。

- ㊨ (小計 10点)
(2点×5) (1) 頭角 (2) 断腸 (3) 復刻
(4) 遊覧 (5) 針小棒大

【出典】
㊦ 茂木ちあき『清政——絵師になりたかった少年』
㊧ 池内了「それは、本当に「科学」なの？」
『考える方法〈中学生からの大学講義〉2』より